

平成24年 2月 6日

プロジェクト報告書

【締切:プロジェクト終了後1か月以内。もしくは 2012年4月30日】

団体名 エスオーエスこどもの村

▼報告書の扱い、および記入にあたっての注意点

この報告書(精算報告書以外)は、ホームページなどで公開する予定ですので、広く読まれることを想定してご記入ください。また、編集段階で、表記・表現等を事務局で編集する場合がありますので、あらかじめご了承ください。語尾の表現は「です・ます」調をお願いします。報告書に掲載するため活動の内容がよくわかる写真(2枚程度。写真の肖像権問題がないものの提出をお願い致します)を添付して下さい。

1. プロジェクト名

・職員の資質向上と職員交流

2. プロジェクトの目的とその背景 300文字まで

※応募申請書に記載のもので可。

・当施設でも取り組んでいる、援助技術を先駆的に実践している施設を見学することにより、いろいろなヒントをもらう。全職員が同じ施設を見学することで共通意識をもつことができるため。

3. プロジェクトの内容 300文字まで

※当初予定と変更がない場合は、応募申請書に記載のもので可。

常勤職員を2班にわけ、革新的な取り組みをしている情緒障害児短期治療施設あゆみの丘を見学し取り組み方を学ぶ。職員交流の場でも、見学をしたことを中心に研修を行い、当施設で取り組めることを深め合う。又、普段なかなか交流を深めることが出来ない職員と交流を図り、施設内での問題を共有できるようにする。

4. プロジェクト実施にあたっての工夫点とその効果 300文字まで

・今回のプロジェクトで工夫した点は、見学を行った後、どのように施設で実践していくかを意識しました。研修前に職員間での意識の共有を行い、どこに注目して見学をするのか? どうしたら施設内で取り入れることができるかを事前に協議してから研修に参加しました。実際、見学後は各小舎でさまざまな取り組みが見られ、一定の効果は上がったと思います。特に、セカンドステップについては、実際の生活の中で活用する小舎が増えました。

5. 全体的所感、終了しての感想など 300文字まで

・有意義で実りのある研修であったと思います。普段の職員研修では、金額の問題で遠くの施設を見学することは難しいのですが、今回の助成のおかげで先駆的な取り組みをしている施設を見学できた事は、施設職員のスキルアップの面で大きな効果があがったと思います。

6. 参考資料

支援対象プロジェクトで作成したチラシ、パンフレットやマスコミで紹介された記事等は現物またはコピー、活動風景の写真を参考資料として提供してください。

参考資料あり・特になし